

令和4年度

事業報告書

令和4年度 事業報告

I 事業報告の概要

令和4年度津別町社会福祉協議会の活動は、「第2期地域福祉計画・第5期地域福祉実践計画（令和2年度～令和6年度）」の3年次の取り組みをもとに推進してきました。新型コロナウイルス感染症の影響は続きましたが、サロンの開催も進み、まだ、みんなでの会食まではできていませんが、人と会う、話をする、笑うということがとても大事なことでコロナがもたらしたことで実感してきたのではないのでしょうか。

津別町の人口（令和5年3月31日現在）は、4,142人 高齢化率 45.87%となりました。65歳以上の人口は、1,900人で「津別町高齢者保健福祉計画・第8期津別町介護保険事業計画（令和3年度～令和5年度）」の予想より高齢者人口や高齢化率は若干低いものとなっていますが、高齢化率では管内1位（令和4年1月1日現在、全道22位）は変わりません。津別町は、1.18人で高齢者を支えていることとなりますが、みんなをみんなを支える、繋がり合う中で「福祉で町づくり」を取り進めてきました。

年 齢	人口（人）
0歳～14歳	354
15歳～64歳	1,888
65歳～74歳	781
75歳～	1,119
合 計	4,142
高齢化率	45.87%

出典：津別町住民基本台帳
令和5年3月31日現在

北海道では、「北海道ケアラー支援条例（令和4年北海道条例第2号）」が令和4年4月1日施行され、道民全体が一体となってケアラーを支える地域づくりを推進していくことになりましたが、「いっぽサポートステーション」として相談体制をとってきています。今年は、保育園児・障がい者・高齢者施設等における虐待・権利侵害報道が相次ぎました。当会では、人権尊重・尊厳保持の実現に向け地域における権利擁護に取り組んでおります。その一つとして、ハラスメント防止についての要綱を定め、働きやすい職場環境の確立を目指しております。

また、令和3年度から「重層的支援体制整備事業」を取り進め、相談支援、参加支援、地域づくりに向けた支援について取り組んでおります。その中で、「認定生活困窮者就労訓練事業」を新たな事業として加えてきました。中間的就労の場として就労に必要な知識及び能力の向上のための必要な訓練、生活支援並びに健康管理の指導を行う事業です。失敗体験の積み重なりによる気力の減退、自尊感情や自己肯定感の低下、地域社会からの孤立に伴う情報の遮断、自ら相談窓口に出向き、相談や申請行為を行うことが困難な者も少なくないことから、就労訓練事業につながっていくよう、アウトリーチの一つとして、LINEを活用し支援へと結び付けております。

今年度は、「豆のわプロジェクト会議」として手をつなぐ育成会等との事業の取り組みはありませんでしたが、地域住民や障がい者がともに活動を通し繋がり合う事業は、継続していきます。

以下、具体的総括は、重点項目から報告します。

II 重点項目

1 重層的支援体制整備事業実施による包括的相談支援体制の充実

(1) 重層的支援体制整備事業の中心的事業者としての活動

今年度も、厚生労働省の重層的支援体制構築推進人材育成研修や道主催の市町村意見交換会に参加しながら、現実の問題に向き合い、課題認識を共有し、協働していく必要性について学び、具体的な取り組みについて学んできました。

その中でもう一度津別町の資源にスポットをあてて考えてみることを次年度への課題としたところです。新たな資源の構築も必要ですが、地域住民との連携や協働を考えていくときに、まずは、既存の活動を把握したうえで、地域住民のモチベーションの維持・向上や活動の発展につなげていくため、地域住民が何気なく行っている活動を地域の重要な「資源」ではないか。点と点を繋ぐことが必要ではないかと考えました。

また、居場所の開催も月2回開催するようになりましたが、集う人数は少なく居場所を必要とするケースも様々でまだ見えていない部分が多いですが、今後、認定生活困窮者就労訓練事業での生活訓練等につなげるための準備が必要なため、事業所の開設を行いました。

(2) 相談支援包括化推進の役割と機能

行政の各相談窓口の職員との連携・調整を行いながら、支援困難事例のため多職種連携による支援会議を8事例、13回開催してきました。まだ、同意がとれないため重層的支援会議の開催はありません。また、町と社協での情報共有の場として町保健福祉課管理職と係長職、相談支援専門員との相談員支援会議を定例開催しています。

今年度は、包括支援センターの地域ケア会議への参加、岐阜県相談支援コーディネーター養成研修・道内市町村間意見交換会・宗谷管内市町村社会福祉関係者職員研修・大阪公立大学「ソーシャルワーク論」講義などに講師として対応してきました。その他、今後の取り組みの参考となる人材養成研修等に参加してきました。

それぞれの相談窓口では、数多くの相談に対応しています。その相談の整理も必要であり、相談支援包括化推進員の役割は重要なものとなっています。

また、LINEを活用した相談窓口を開設し、少しずつ相談等が寄せられるようになり対応しています。

(3) 身近な福祉相談所ぽっと

地域づくり支援として、身近な福祉相談所ぽっとは、現在4カ所で開設し、地域の課題把握に努めながら、支援者への見守り等を行っています。今年度は、先進地視察として①妹背牛町社協まちかどステーション、②東川共生サロンこころんを訪ねてきました。また、担い手対象の研修会や運営会議を開催しながら、担い手を増やししながらみんなで活動する方法や今後の方向性を確認し合いながら進めてきました。地域づくりには、ひとりではできないから協力者を増やしていくことができるのが課題となっています。

(4) ひきこもり者等社会的孤立者への支援

・居場所は、令和4年度から月2回の開催となり、定期2名、不定期2名の利用です。スタッフも3名体制で再利用封筒の作成、裏紙や使用済み封筒を利用した伝言メモを作成し、役場や社協内で活用してもらい、居場所の活動の周知を行っています。また、あぐりでの収穫物の重さを計り袋詰め作業なども行いました。また、この先の生活の場所を考える時のイメージ含めて外の体験としてドライブツアーを実施しました。少しずつ経験を積み重ねています。

・社協あぐり（農園）では、現在、ひきこもり者等生活困窮者の方の参加はありませんが、あぐりの収穫物の重さを計り袋詰め作業を居場所の利用者に行っていたきました。また、認定生活困窮者就労訓練事業所を開設し、生活訓練等が必要な利用者に結び付けていく準備を整えています。

(5) 権利擁護に関する取り組みの充実

あんしん生活サポートセンターでの相談内容は、成年後見申立含み、福祉資金貸付相談、金銭管理等を継続して行っています。近年は、市民後見人の受任する被後見人が亡くなるケースが出てきており、最後まで支援を行っていただいています。また、被後見人の年齢が高くなるにつれ、後見人の年齢も上がっていくことで、後見人の交代も検討課題になってきます。

今年度の申立件数は1件ですが、市民後見人の力が求められており、市民後見人候補者の登録者数を増やすため令和5年度の開催に向けて準備していきます。

また、北見地域定住自立圏協議において中核機関の共同実施の協議を行い、令和5年度から津別町も参加することとなり、これで1市3町（北見市、訓子府町、置戸町、津別町）となります。審査検討会（受任調整会議）を中核機関で実施となるものです。

2 地域の支え合い活動の推進

(1) 自治会内における地域支え合い活動の取り組み

・サロン活動では、現在地区サロン11地区、運動サロン2地区、合計13地区でサロン活動が展開されています。新型コロナウイルス感染症の影響から「サロン交流会」は、中止しておりますが、運動サロンの拡大のために、おためし会を2回開催してきました。コロナ禍の影響で、ひきこもりになってしまい体力が落ちてきていることを実感し、今年度は、感染対策に気をつけて実施しておりました。みなさんから人と会うこと・話をすること・笑うことが一番の介護予防との声が聞かれました。

・「命のバトン」の取り組みは、4自治会（旭町第3、豊永第4、高台町、幸町）で取り組まれています。活用は自治会中心で行っていますが、名簿の更新が行われていない地区もあるため、今後は状況確認も行っていきます。また、バトンではなく、チャック付きファイルを使った「命のバトン」に取り組む自治会も増えました。今後も、出前講座や自治会での説明などを通して命のバトンの取り組みを拡大していきます。

- ・各地域での見守り活動では、身近な福祉相談所やサロン活動の他にも、幸町、新町自治会で独居高齢者の見守り活動や防災訓練時の災害時要支援者の把握など、自治会の取り組みが進められています。
- ・福祉委員の見直しについては、取り組みませんでした。見守り活動としての活動手段として命のバトンや連絡カードの活用などが災害時の取り組みにもつながることから、次年度に研修会開催について準備しております。この中で、日頃から地域で行っていることをみなさんから拾い集めることで、地域の資源となり得るのではないかと期待しているところです。

(2) 介護予防いきいきポイント事業の推進

登録者事前研修会を開催しましたが、新規登録者は1名でした。年度末登録者は135（男性42名、女性93名）名となりました。

地域の支え活動の推進のため、事前登録研修会やフォローアップ研修会を通じて新たなボランティアの発掘を目指していきます。

まだ、コロナ禍ではありましたが、少しずつ活動が始まり、令和4年度のポイント交換者は、70人、190,000円（令和3年度67人、182,500円）となりました。今後も、登録者は、人口の1割（414人）を目指し取り組みを進めていきます。

3 生活支援サービスの充実

(1) 生活支援サポート事業の推進とコーディネーターの取り組み

・生活支援サポーターフォローアップ研修を実施し、現在登録者77名となり実活動者は36名となります。すべての自治会にサポーターはいませんので、利用者のマッチングは難しい面もあり、サポーターの拡大は望まれているところもありますが、サポート事業の利用登録者は19名で、実利用者は8名であり、利用状況は低いものとなっています。

認知度が低いのか、すぐに介護保険サービスの利用となり利用につながらないのか、生活支援サービスの利用が伸びていきません。介護保険外のサービスは家族や地域が担える状況なのかもしれませんが、現実に利用者はいます。

・生活支援コーディネーター業務を町から受託しながら、サロンや自主団体活動への参加やまちづくりセンター運営協議会にも参加し、地域資源の発掘に取り組んでいます。コロナ禍の中、皆さんの生きがいづくりを発掘するため、「私の宝物」として、社協の窓口を活用した作品展を開催してきました。また、生活支援体制整備協議体会議の開催や出前講座、サロン活動等を通じて、地域での支え合い活動や健康づくりの話をするなど地域づくりに向けた支援の取り組みを進めてきました。地域資源の把握に向けたアンケートを役場職員・社協職員で実施しましたが、わずかな結果となりました。次年度に自治会福祉委員などを交えた研修などで情報を集める計画です。

(2) 認知症の人と家族の支援など認知症地域支援推進員の活動

町受託事業である認知症地域支援推進員として2名で活動してきました。

認知症サポーター養成講座を2回開催し、一つは「ひとり歩き高齢者おかえり

模擬訓練」と併せて開催し、模擬訓練での寸劇は、前回開催地の活波の方たちに行っていました。また、今年度も認知症普及月間に合わせて社協カウンター前で本の展示や銀行窓口での出前カフェ、認知症茶屋、家族介護者のため茶話会の開催や認知症サポーターステップアップ講座やフォローアップ研修も行いながら認知症の理解・普及啓発を行ってきました。

(3) 福祉有償運送事業（移送サービス）の実施

地域福祉実践計画の課題の一つであった要介護者等への移送サービスは、町の補助事業として福祉有償運送事業を平成29年7月から開始。事業登録者は令和4年度末で234人、実利用者も毎月50人を超える利用となり、定着した在宅福祉サービスになっています。

現在は、車いす利用者が増えてきている中、車いす対応車両（計3台）として現在、フル活動しております。現在、登録車両4台（1台は予備）で実運転手3人と社協職員5人がいますが、透析通院や他の病院通院など利用者の増から車両・運転手の確保などの課題を解決しながら、住民の要望に応じていくこととします。

(4) 既存の福祉サービス事業等の充実

今年度も社協役員、ボランティア、地域住民の皆さんのご協力により、給食サービス、ふれあい郵便の事業を推進することができました。

給食サービスは、配達ボランティアの協力を得て、月平均60名を超える利用者に週2回夕食を届けています。令和4年度は、実利用者82名の利用です。

今後も利用者の増が見込まれますが、配達ボランティアの確保や車の確保など検討が必要になってきます。

ふれあい郵便も少しでもみなさんに元気を届けたい、季節を感じてもらいたいとボランティアの協力で毎月180枚前後を郵便配達員や自治会で手渡しで配布しています。

また、高齢者の閉じこもり防止や外出機会を増やし他者との交流を目的とした事業は、コロナ禍の中で中止としてきました。今後に向けて事業の検討をいきます。

4 災害救援活動におけるボランティアセンターの運営

今年度は、研修会等を通じて災害ボランティアセンターマニュアルの整備や災害救援用備品機材の確保などを検討し作成作業中で、町との協定については次年度の課題としました。

今後も、「福祉」と「防災」をつなぎ合わせて「福祉防災」として、平時でも災害時でも、あらゆる場面を想定した支援の仕組みについて考えていきます。

5 町内の社会福祉法人や介護・福祉事業所との連携強化

今年度も他の法人との協議の場は持っていません。

また、町と関係事業所との共同で取り組む介護福祉人材確保セミナーは、コロナ禍のため今年度も行うことはできませんでしたが、協力いただいている学校等への周知活動として今年度も「津別の魅力紹介映像」を作成し、YouTubeの配信や津別町のパンフ、地図をプリントしたクリアファイルを作成してきました。

6 社会福祉協議会事務局活動の充実

(1) 社会福祉協議会財政基盤の確立

法人運営の財政は、会費や寄付金と事業収入となっておりますが、会費や寄付金収入も厳しいものになっておりますが、今後も社会福祉協議会の理解と協力に努めてまいります。

今年度は、ホームページのリニューアルやLINEの活用などを行い活動の周知を行ってきております。

引き続き事業の見直しを含め、財源の確保に向けアンテナを上げ財政基盤の確立を図ってまいります。

(2) 広報活動の充実

社協だよりは、当初計画通り年4回発行を行ってきました。また、社協ホームページの更新のほか、LINEの活用も始め、情報発信や相談対応に努めています。また、認知症推進の取り組みに合わせ、ポケットティッシュを活用した周知活動を行ってきています。

(3) 事務局体制の整備

今年度も欠員職員分の採用ができず、職員への負担は強いものとなりました。

権利擁護やひきこもり者支援など多様な事業展開が必要となり、職員に求められることが多く、職員の育成やレベルアップと職員の確保に取り組み、職員の負担軽減のためにも事務局体制の整備については喫緊の課題となっております。

社会福祉協議会会議

■正副会長会議

令和4年5月23日(月) 山田会長、山内副会長

令和5年3月2日(木) 山田会長、山内副会長、篠森副会長

■理事会

第1回 令和4年5月30日(月) 13:30 ~

出席者 理事12名 監事2名

第2回 令和4年10月3日(月) 14:00 ~

出席者 理事11名 監事2名

第3回 令和4年12月2日(金) 10:00 ~

出席者 理事11名 監事2名

第4回 令和5年3月6日(月) 14:00 ~

出席者 理事11名 監事2名

■評議員会

第1回 令和4年6月24日(金) 15:00 ~

出席者 評議員10名、会長、副会長1名 監事2名

第2回 令和5年3月27日(月) 14:00 ~

出席者 評議員11名、会長、副会長2名 監事1名

■評議員選任解任委員会

第1回 令和5年3月6日(月) 出席者 委員4名

■歳末支援金配分委員会

第1回 令和4年12月5日(月) 14:00 ~ 出席者 委員5名

■内部監査

第1回 令和4年5月18日(水) 9:00 ~ 決算監査 監事2名

第2回 令和4年7月26日(火) 9:30 ~ 第1四半期 監事2名

第3回 令和4年10月25日(火) 9:00 ~ 第2四半期 監事2名

第4回 令和5年1月31日(火) 9:30 ~ 第3四半期 監事1名

研修会・会議・打合せ等

■定例民協(原則毎月第2木曜日) 出席者 小野事務局長

■生活福祉資金特例貸付債務管理・償還免除に関する説明会

令和4年5月16日(月) 門脇次長

■オホーツク管内社協連絡会議 北見ブロック会議

令和4年6月1日(水) 山田会長、小野事務局長

- 地域公共交通活性化協議会
第10回 令和4年5月30日(月) 14:30 ~ 16:00 欠席
第11回 令和4年11月29日(木) 15:00 ~ 16:30 門脇次長

- 全道市町村社協会長・事務局長研究協議会(オンライン)
令和4年6月10日(金) 山田会長、小野事務局長

- オホーツク管内市町村社協連絡協議会 ブロック代表役員候補者会議
令和4年6月14日(火) 網走 山田会長

- 全道新任社協職員研修
令和4年6月23日(木) ~ 24日(金) 札幌市 山口主事

- オホーツクボランティア活動推進会議
令和4年6月27日(月) 網走市 土屋VC委員長 山口主事

- オホーツク管内市町村社協連絡協議会第1回会長事務局長会議
令和4年7月8日(金) 網走市 山田会長 小野事務局長

- オホーツク管内社協職員連絡協議会第1回正副会長・役員合同会議 総会
令和4年7月14日(木) 網走 門脇次長 立花係長 山口主事

- 安全運転管理者講習
令和4年8月5日(金) 美幌町 門脇次長

- 社協事業(令和3年度)実績町長報告
令和4年8月23日(火) 山田会長、小野事務局長、門脇次長

- 全道市町村社協事務局長連絡会議(オンライン)
令和4年9月9日(金) 小野事務局長

- 北海道社協職員研究協議会(オンライン)
令和4年9月20日(火) 立花係長 山口主事

- 全道市町村社協事務局長連絡会議(オンライン)
令和4年9月30日(金) 小野事務局長

- 3町ボランティア朋の集い
令和4年10月12日(水) 中央公民館 参加者63名(内津別町25名)

- 安心サポート事業への移行準備事業オンライン説明会
令和4年12月21日（水） 門協次長 立花係長 寺尾主事

- オホーツク圏ボランティア活動推進会議
令和5年1月31日（火） 網走市 土屋委員長 山口主事

- オホーツク管内社協職員連絡協議会第2回正副会長・役員合同会議
令和5年2月17日（金） 山口主事

- 高齢者虐待防止ネットワーク会議
令和5年2月28日（火） 門協次長

- 津別町認知症高齢者等SOSネットワーク連絡会議
令和5年3月2日（水） 小野事務局長

- 介護事業者のためのBCP作成セミナー（オンライン）
令和5年3月7日（火） 小野事務局長

- オホーツク圏市民活動ボランティアフォーラム オンデマンド視聴会
令和5年3月20日（月） 参加者 12名

令和4年度 相談支援包括化推進事業実績報告

(1) ケース会議等

①地域ケア会議

- 「高齢者姉妹世帯の今後の生活と支援体制について」
令和4年11月4日 津別町役場 健診ホール
立花係長

(2) 広報及び啓発、調査対応

①講師対応等

- ・令和4年度岐阜県相談支援コーディネーター養成研修
「津別町の重層的支援体制整備事業について」
令和4年6月20日 オンライン 立花係長
- ・令和4年度重層的支援体制構築にむけた市町村間意見交換会
「津別町の重層的支援体制整備事業について」
令和4年10月11日 札幌市 立花係長
- ・民生委員児童委員協議会
「住民とともに進める支え合いの地域づくり
～重層的支援体制整備事業について～」
令和4年10月13日 津別町役場 健診ホール
- ・宗谷管内市長村社会福祉関係者職員研修会
「津別町の重層的支援体制整備事業について」
令和4年11月29日 稚内市 立花係長
- ・大阪公立大学「ソーシャルワーク論」講義
「津別町の重層的支援体制整備事業について」
令和5年1月16日 オンライン 立花係長

②調査対応

- ・研究調査（北海道大学大学院生 柴田曜氏）
令和4年6月29日 立花係長
- ・訪問ヒアリング調査（藤女子大学小沼教授）
令和4年8月23日 立花係長
「コミュニティワーク第30号（日本地域福祉研究所）」に掲載
- ・研究のための聞き取り調査（大阪公立大学大学院生 藤原牧子氏）
令和4年12月26日 山田会長、小野局長、立花係長

(3) その他

①職員研修

- ・令和4年度 全道社協職員研究協議会（講義・個人演習）
令和4年9月20日 オンライン 立花係長・山口主事
- ・重層的支援体制整備事業人材養成研修〈基礎編〉共通カリキュラム
令和4年9月12日 オンライン 小野局長・立花係長
令和4年11月15日 オンライン 小野局長・立花係長
- ・重層的支援体制構築人材養成研修〈応用編・座学〉
令和4年11月1日 オンライン 小野局長・立花係長
- ・重層的支援体制整備事業人材養成研修（北海道）
令和4年11月14日 オンライン 小野局長・立花係長
令和5年1月27日 札幌市 立花係長
- ・重層的支援体制構築に向けた市町村間意見交換会
令和5年1月24日 オンライン 小野局長、立花係長

令和4年度 アウトリーチ等を通じた継続的支援事業実績報告

(1) アウトリーチ等を通じた継続的支援プラン作成件数 1件

初回プラン 令和3年7月15日作成

更新プラン (4回目) 令和4年7月13日作成 (3回目評価あり)
(5回目) 令和5年1月18日作成 (4回目評価あり)

(2) 周知活動

①ひきこもり支援の周知のためのチラシ折り込み

・令和4年10月下旬に、経済の伝書鳩1,840部、北海道新聞1,100部
読売新聞500部のチラシを折り込んだ。

・社協だより(令和4年7月号)に「LINE・メールでの相談を始めました」という内容で相談窓口の周知を行った。

②2つ折りカード(名刺サイズ)の作成

お手洗いやお店など、興味関心のある方に手に取ってもらい相談につながるよう作成した。

③ホームページ

ひきこもり支援についての周知やLINE相談について掲載

④社協だより(令和4年7月)

「LINE、メールでの相談始めました」という内容で相談窓口の周知を行った。

(3) 相談窓口の強化

令和4年度から、Eメール、LINEでの相談対応ができるよう整備や、ホームページを利用してひきこもり等に相談窓口の周知を行った。

ひきこもりの相談はなかったが、自分の生活や家族の相談などにつながった。

(4) 職員研修

令和4年6月10日 第159回 市町村職員を対象とするセミナー

「ひきこもり支援の推進について」

立花係長・寺尾主事

令和4年7月5日 ひきこもりへの重層的支援体制整備事業創設背景と

社会福祉協議会への期待

8050世帯、ひきこもりの方の支援を地域で進めるために

立花係長

令和5年2月2日 重層的支援体制整備事業人材養成研修<基礎編>

アウトリーチ等を通じた継続的支援事業者向け

小野局長・立花係長

令和5年2月24日 令和4年度 ひきこもり支援機関関係職員等研修会

小野局長、門脇次長、立花係長、寺尾主事

令和4年度 多機関協働事業実績報告

(1) 支援困難事例や多職種連携による支援会議開催実績

①開催実績 8事例 13回開催

内訳 令和4年 5月 1件 ・ 6月 1件 ・ 8月 1件
9月 2件 ・ 10月 4件 ・ 12月 3件
令和5年 3月 1件

②支援会議検討事例 「同居の息子による母親と障がいのある姉への虐待への支援」
「知的障がいのある両親の世帯の不登校児への支援」
「夫死去後の外国籍の母親とその世帯への支援」など8事例

③招集メンバー 基幹相談支援センター、北見赤十字病院医療ソーシャルワーカー
津別病院リハビリ職員、オホーツク総合振興局社会福祉課、
就労継続支援B型事業所、津別中学校、津別小学校、
相談支援事業所、訪問介護事業所、訪問看護事業所
津別町保健福祉課 津別町教育委員会、津別町社会福祉協議会

(2) 相談員支援会議開催実績

①参加者 ・役場保健福祉課（健康推進係・福祉係・介護保険係・高齢者相談係）の管理職と係長職
・社会福祉協議会の管理職、係長職（相談支援包括化推進員）

②開催実績 8回

③協議内容 情報共有事例7事例
情報共有後の経過報告
生活支援体制整備事業「つべつのよいとこ教えてプロジェクト」
の協力依頼
身近な福祉相談所ぽっとの次年度の活動について など

(3) 重層的支援会議の開催

なし ※本人の同意が得られなかったため、支援会議で対応

(4) 講師・周知活動など

・令和4年度地域福祉推進セミナー（高知県） オンライン
「多機関が参加する支援会議により福祉的就労につながった事例」
令和4年10月24日 立花係長

(5) 職員研修

令和5年1月27日 重層的支援体制整備事業人材養成研修〈基礎編〉
多機関協働事業 オンライン
小野局長

令和4年度 地域づくり支援（共助の基盤づくり）事業実績

(1) 身近な福祉相談所ぽっと開催実績

現在、町内4か所で開催。

地域住民で構成させている担い手と、役場保健福祉課（健康推進係、福祉係、介護保険係、高齢者相談係）と社協職員、相談支援包括化推進員（立花）で構成

① 旭町第3ぽっと（小野局長）

開催日 毎月第3水曜日 10:00～

構成メンバー 12名 内訳：担い手 7名（男性1名・女性6名）
職員 5名（役場4名・社協1名）

開催回数 12回

② 活汲中央ぽっと（門脇次長）

開催日 毎月第2火曜日 10:00～

構成メンバー 11名 内訳：担い手 9名（男性7名・女性2名）
職員 5名（役場4名・社協1名）

開催回数 12回

③ 豊永第3ぽっと（寺尾主事）

開催日 毎月第4水曜日 14:00～

構成メンバー 16名 内訳：担い手 11名（男性8名・女性3名）
職員 5名（役場4名・社協1名）

開催回数 11回（年末のため休み）

④ 緑町第2ぽっと（山口主事）

開催日 毎月第2木曜日・第4木曜日 10:00～

構成メンバー 13名 内訳：担い手 8名（男性6名・女性3名）
職員 5名（役場4名・社協1名）

開催回数 23回（祝日のため休みあり）

(2) 身近な福祉相談所ぽっと先進地視察研修

日時 令和4年10月27日～28日

行先 ①妹背牛町社会福祉協議会 まちかどステーション

②東川共生サロン ここりん

参加者 担い手12名 町1名、社協2名

内容 ①妹背牛町社会福祉協議会

- ・妹背牛町社会福祉協議会からまちかどステーションについて紹介
- ・津別町社会福祉協議会から身近な福祉相談所「ぽっと」を紹介
- ・まちかどアドバイザーと「ぽっと」の担い手で意見交換

②東川共生サロンここりん

- ・施設について説明を受けた後、施設を見学

(3) 身近な福祉相談所ぽっと研修会（担い手対象）

日 時 令和4年12月17日 13:30～15:15 津別町役場 健診ホール
講 師 北星学園大学 社会福祉学部福祉計画科教授 岡田 直人氏
内 容 「人と人が結びつき盛り上がっているある連合町内会の仕掛け
～1人でできないから、協力者を増やす要諦とは～」
参 加 者 担い手14名 町職員1名 社協職員5名 その他2名

(4) 身近な福祉相談所ぽっと運営会議

日 時 令和4年4月20日 15:30～17:20
場 所 津別町役場 健診ホール
内 容 今後の方向性と令和4年度の活動について

(5) 身近な福祉相談所ぽっと全体会議

日 時 令和4年5月20日
小野局長・門脇次長・山口主事・寺尾主事

(7) 身近な福祉相談所ぽっと手引き作成の打ち合わせ

日 時 令和4年12月27日
場 所 津別町役場 多目的活動室
参加者 大阪公立大学 野村先生 北海道総合研究調査会 切通調査部長
町職員3名 社協職員2名

(6) 福祉教育

令和4年11月16日 津別小学校福祉教育打ち合わせ 立花係長
令和4年12月5日 津別小学校3年生（32名） 立花係長
「津別町のお年寄りや津別の福祉について知ろう」
令和4年12月9日 新型コロナウイルス感染のため寿大学との交流授業は中止
令和5年1月19日 津別小学校5年生（16名） 小野局長・立花係長
「高齢者疑似体験」
※装具装着のため、社協ボランティア4名協力
令和5年2月8日 津別小学校5年生（16名） 門脇次長・立花係長
「車いす体験」「認知症について考えよう」

(7) 防災研修

・町・社協職員対象

日 時 令和4年12月26日 16:00～17:00
場 所 津別町役場 健診ホール
講 師 大阪公立大学 都市科学・防災センター教授 野村恭代氏
内 容 「自治体・社協における平時からの防災対策」
参 加 者 町24名、社協5名 その他4名

・災害ボランティアセンター研修

日 時 令和5年2月17日 9:30~12:30
場 所 津別町役場 ボランティア室・栄養指導兼調理室
内 容 ① 災害時に自分、家族をまもるために日頃からできること
② 災害時の食事の確保 パッククッキングを使って
参 加 者 津別町赤十字奉仕団15名 町2名 社協2名

(7) 講師・周知活動など

・身近な福祉相談所ぽっと勉強会（新たにぽっとに参加する職員対象）

日 時 令和4年5月18日 16:00~17:00 津別町役場 多目的活動室
参加者 6名

(8) 職員研修

令和4年6月13日 令和4年度災害ボランティアコーディネーター養成・
資質向上研修会（オンライン）
小野局長・立花係長

令和4年7月25日 令和4年度 北海道災害ボランティアセンターWEB講座
被災地の寄り添う災害ボランティアセンター運営
門脇次長

令和4年7月28日 令和4年度 北海道災害ボランティアセンターWEB講座
被災者支援の全体像 ～なぜ行政・社協・NPO等の連携が
必要なのか～
立花係長

令和4年8月3日 令和4年度全国福祉教育推進員研修（オンライン）
立花係長

令和4年12月20日 災害時の要配慮者支援人材育成事業防災・減災オンライン
講座（オンライン）
小野局長

令和5年2月10日 令和4年度ささえあい講演会 訓子府町
立花係長・寺尾主事

令和4年度 津別町ふれあい・いきいきサロン事業 実績報告書

1、地区サロンの開催状況

サ ロ ン 名	開催回数	参加延人員	備 考
高台町ほのぼのサロン	11回	85名	
柏町いきいきサロン	9回	83名	バス利用、かるっちゃ依頼
相生あいあいサロン	10回	63名	
本岐地区いきいきサロン	11回	162名	
豊永第4げんきサロン	9回	267名	かるっちゃ依頼
東達美いきいきサロン	6回	80名	
東町ふれあいサロン	11回	133名	
旭町第3おさんぽ・ぽっと	11回	149名	
活汲おげんきサロン	12回	145名	かるっちゃ依頼
共和にこにこサロン	12回	176名	バス利用
豊永第3こいこいサロン	12回	188名	
計 11地区	114回	1,531人	

2、地区サロン立上げ支援の状況

- ・共和第3自治会からサロン立ち上げ希望の相談を受けている。
参考の資料をもとに役員会で打ち合わせ予定。
必要に応じて職員派遣できること伝えている。

3、運動サロンの開催状況

①共和はつらつ健康サロン開催状況

月	開催回数	参加延人数	備 考
4月	2回	17人	高間運動指導士、スタッフ
5月	2回	16人	高間運動指導士、スタッフ
6月	2回	20人	高間運動指導士、スタッフ
7月	2回	17人	高間運動指導士、スタッフ
8月	2回	12人	スタッフ
9月	2回	20人	高間運動指導士、スタッフ
10月	2回	20人	体力測定、日赤看護大学:山本教授、高間運動指導士、

			スタッフ
11月	2回	21人	高間運動指導士、スタッフ
12月	1回	7人	高間運動指導士、スタッフ
1月	1回	11人	スタッフ
2月	2回	23人	高間運動指導士、スタッフ
3月	2回	33人	体力測定、日赤看護大学:山本教授、高間運動指導士、スタッフ
計	22回	217人	

②西町さわやか健康サロン開催状況

月	開催回数	参加延人数	備 考
4月	2回	25人	高間運動指導士、スタッフ
5月	2回	18人	高間運動指導士、スタッフ
6月	2回	14人	高間運動指導士、スタッフ
7月	1回	5人	高間運動指導士、スタッフ
8月	2回	8人	スタッフ
9月	2回	11人	高間運動指導士、スタッフ
10月	2回	19人	体力測定、日赤看護大学:山本教授、高間運動指導士、スタッフ
11月	2回	12人	高間運動指導士、スタッフ
12月	2回	12人	高間運動指導士、スタッフ
1月	1回	8人	高間運動指導士、スタッフ
2月	2回	17人	
3月	2回	19人	体力測定、日赤看護大学:山本教授、高間運動指導士、スタッフ
計	22回	168人	

③参加記念マフラータオルの製作

参加意欲の向上、新規参加者確保のためマフラータオルを製作し参加者へ配布する。

4、サロン担当者会議の開催

日時・場所

令和4年4月19日（火）10時00分から12時00分 津別町役場 健診ホール

内 容 ①各サロンの活動状況と課題

②助成金交付申請等について

③事務連絡（講師等派遣、福祉バス使用、レク用品貸し出し、サロン交流会開催について、会食交流について）

出席者 サロン運営者

高台町1名・柏町2名・本岐1名・相生1名・豊永第四2名・東達美1名
東町1名・旭町第三2名・活汲2名・共和第二2名・豊永第三1名
共和運動1名・西町運動0名
地域包括支援センター1名・社会福祉協議会2人名 合計20人

5、サロン交流会の開催

- ・新型コロナウイルス感染防止対策として開催を中止。

例年10月に、町内サロン参加者の交流とサロン内容の充実を目的にサロン交流会を開催している。音楽を活用した交流や自宅でもできる軽運動などのプログラム、日赤奉仕団の協力を得た会食交流を実施し、近年では140名程が参加する事業となっていることから、ウイルス感染のリスクを考慮し開催中止の判断とした。

令和5年度は新型コロナウイルス感染症が感染症法の5類に引き下げ予定のため、感染対策には留意しながら開催していきたい。

6、レクリエーション講習会の開催

日時・場所

令和4年5月27日(金) 10時00分から12時00分 中央公民館 講堂

内容 サロン運営者より要望を受け、新規購入レク用具の講習会を実施
(バグーゲーム、ボッチャ、モルック)

参加 21名

7、視察対応等

- ・令和4年9月8日(木) 旭町第3おさんぼ・ぽっと
生活支援コーディネーター養成研修にて見学対応

令和4年度津別町介護予防いきいきポイント事業 事業実績報告書

1. ボランティア登録者の事前研修、並びにフォローアップ研修の開催

登録者事前研修及びフォローアップ研修

日時 令和4年10月26日（水）午前10時～12時

場所 津別町役場 健診ホール

内容 講座「笑い文字 初級講座」

講師 鴻巣 知香子 氏（笑い文字普及協会 上級講師）

事業説明（事務局）

参加者 15名（新規登録者1名）

2. 介護予防いきいきポイント登録者の管理

【 令和4年度末登録者数 】

（年齢は登録時 単位：人）

年齢	男	女	計
65歳以上	35	76	111
64歳～40歳	6	16	22
40歳未満	1	1	2
合計	42	93	135

《 参考 令和3年度末登録者数 》

年齢	男	女	計
65歳以上	30	68	98
64歳～40歳	16	40	56
40歳未満	2	3	5
合計	48	111	159

令和4年度は、新規登録者が1人（男0人、女1人）増となった。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、登録者事前研修とフォローアップ研修は1回の開催とした。

【 登録内容確認 】

事業開始から6年が経過していることから、名簿登録継続の意向確認を含めた登録内容調査を行った。概ね登録継続の回答であったが、高齢による自身の体調

不良から登録解除の希望者も確認している。その他転出等の状況も確認し名簿の整理を行っている。

3. 介護予防いきいきポイント手帳の作成と登録者への送付

登録者事前研修終了後、新規登録者1人（男0人、女1人）の登録を行い、介護予防いきいきポイント手帳を送付した。

4. 指定施設の取りまとめとボランティアの提供支援

(1) 指定施設 (町内8事業所)

- ・ 社会福祉法人恵和福祉会 特別養護老人ホームいちいの園
- ・ 社会福祉法人恵和福祉会 津別町デイサービスセンター
- ・ 社会福祉法人恵和福祉会 津別町居宅介護支援事業所
- ・ 社会福祉法人津別福祉会 ケアハウスつべつ
- ・ グループホームほのぼの
- ・ 小規模多機能ホーム 夢ふうせんのか
- ・ 津別町地域包括支援センター
- ・ 社会福祉法人 津別町社会福祉協議会

5. 評価ポイントの管理と換券手続き支援

(1) 令和4年度換券者数と換券金額

(単位：人・円)

	男		女		合計	
	人数	換券金額	人数	換券金額	人数	換券金額
町財源	27	76,500	42	108,500	69	185,000
社協財源	1	5,000	—	—	1	5,000
合計	28	81,500	42	108,500	70	190,000

※社協財源該当者は、40歳未満登録者の活動分

《 参考 令和3年度換券者数と換券金額 》

(単位：人・円)

	男		女		合計	
	人数	換券金額	人数	換券金額	人数	換券金額
町財源	28	76,000	38	101,500	66	177,500
社協財源	1	5,000	—	—	1	5,000
合計	29	81,000	38	101,500	67	182,500

(2) 令和4年度換券者の活動内容

活 動 内 容	人 数	ポイント数	割合 (%)
地域サロン	39	659	34.7
給食サービス	20	574	30.2
社協事業 (集い他)	37	526	27.7
サークルぴゅあ	5	23	1.2
絵手紙	4	75	3.9
デイサービスセンター (障がい含む)	1	13	0.7
ケアハウス	2	30	1.6
合 計	108	1,900	100.0

《 参考 令和3年度換券者の活動内容 》

活 動 内 容	人 数	ポイント数	割合 (%)
地域サロン	35	535	29.3
給食サービス	22	611	33.5
社協事業 (集い他)	32	595	32.6
サークルぴゅあ	2	12	0.7
絵手紙	3	70	3.8
特養いちいの園	2	2	0.1
合 計	96	1,825	100.0

昨年度に続き、新型コロナウイルス感染拡大防止のため社協事業や地域サロンの自粛、施設の面会制限など様々なボランティア活動に制限があるなかでの取り組みであったが、制限の緩和や感染対策に対する個人の意識が強化されてきたことから、換券人数、換券ポイントともに回復傾向にある。

今後も新型コロナウイルスの感染拡大防止をしながら、ボランティアの発掘も含めて活動を継続していきたい。

令和4年度 津別町あんしん生活サポートセンター事業実績報告

(1) 成年後見制度等に関する相談及び利用支援

1) 相談内容（実人数の件数）

相談内容	件数
成年後見（申立て含む）	5
福祉資金貸付	12
金銭管理	4
虐待事案	0
生活困窮	0
ひきこもり支援	0
生活不安	0
その他	3
合計	24

2) 成年後見等受任状況

①個人受任

受任月	被後見人等	後見類型	市民後見人	生活状況
平成25年5月	79歳女性	後見	中川孝敏・山内浩子	在宅
平成30年2月	92歳男性	保佐	山本靖博・井村ゆかり	入院中
令和元年5月	83歳男性	保佐	相馬由紀子 (津別社協との複数後見)	在宅
令和2年10月	76歳男性	保佐	中田千津子 (津別社協との複数後見)	施設
令和4年1月	82歳女性	後見	石井満・山田はる江	施設
令和4年1月	92歳女性	後見	福井隆雅 (津別社協との複数後見)	入院中

②法人後見受任

受任月	被後見人等	後見類型	後見支援員	生活状況
平成28年2月	93歳女性	後見	清水 恵	施設
平成29年4月	90歳女性	後見	(町外施設のため未委嘱)	施設
平成29年7月	78歳男性	後見	(町外施設のため未委嘱)	施設⇒死去
平成30年12月	95歳男性	後見	(未委嘱)・弁護士	施設⇒死去
平成31年1月	90歳男性	後見	土屋昇・土屋けい子	施設
令和2年7月	83歳女性	保佐	(未委嘱)・弁護士	施設
令和3年1月	81歳男性	保佐	(未委嘱)	在宅

3) 申立支援状況

受任月	被後見人等	後見類型	後見人等	生活状況
令和5年3月	96歳女性	保佐	審判待ち	施設

(2) 成年後見制度等に関する広報及び啓発

① 視察対応等

- ・湧別町社会福祉協議会成年後見事業に係る視察研修
令和4年11月25日(金)
山田会長・立花係長

② 講師対応等

- ・網走市権利擁護事業市民従事者フォローアップ研修会
令和5年3月9日(木) 網走市エコセンター
事例紹介 「津別町の後見活動について」
寺尾主事

(3) 市民後見人の養成及び実務等研修の実施

1) 津別町市民後見人フォローアップ研修

① 令和4年度 オホーツク管内市民後見人活動交流会

令和4年11月9日(水) 10:00~12:50

基調講演 「コロナ禍における意思決定支援」

講師 株式会社エムリンクホールディングス

取締役事業部長 本見 綾子氏

市民後見人による受任報告会(北見市・紋別市・美幌町・津別町)

津別町は、保佐人として活動している中田千津子氏から報告

参加者56名(うち津別町参加者10名)

② 養成研修修了者

令和2年2月28日 9:30~11:30 津別町役場 大会議室

テーマ 「困った時はみんなで考えよう！」

～本人を知り、明日からできることを考える～

野中式事例検討

講師 札幌学院大学人文学部人間科学科 教授 大久保薫氏

参加者 市民後見人16名 事務局3名

(4) 市民後見人候補者の登録、受任調整及び市民後見人への活動支援

1) あんしん生活サポートセンター受任調整会議

第1回 令和5年2月16日(木) 津別町役場 大会議室

出席者 委員5人、事務局3人

審査案件 1件 申立の審議
 報告案件 1件 前審議案件の報告

2) 市民後見人の適正な活動のための支援
 定期報告の作成や被後見人等への支援方法などの支援を行った。

(5) 成年後見制度等に関する関係機関等との連携

- 1) オホーツク管内権利擁護支援センター情報交換会
 - ・令和4年6月29日(水) 美幌町しゃきっとプラザ
 - ・令和4年7月20日(水) 大空町地域福祉センター
 - ・令和4年8月25日(木) 紋別市総合福祉センター
 - ・令和4年11月2日(水) オンラインにて
 小野局長・立花係長・寺尾主事
- 2) 全国権利擁護支援ネットワーク運営協議会
 - ・令和4年4月23日(土) オンラインにて
 - ・令和4年8月20日(土) オンラインにて
 - ・令和4年11月12日(土) オンラインにて
 寺尾主事(北海道ブロック協力員)
- 3) 津別町高齢者虐待防止ネットワーク会議
 - ・令和5年2月28日(火) 津別町役場 健診ホール
 門脇次長

(6) その他センターの運営に関し必要な事項

- 1) あんしん生活サポートセンター運営協議会
 令和5年2月24日(金) 14:00~14:35
 協議案件
 - ・令和4年度あんしん生活サポートセンター事業報告について
 - ・令和5年度あんしん生活サポートセンター事業計画について
 - ・令和5年度北見地域定住自立圏協議における中核機関の共同実施内容について

2) 日常生活自立支援事業契約状況

契約月	利用者	自立生活専門員	生活支援員
平成30年1月	71歳男性	門脇 隆司	寺尾 玲香

3) 津別町ほっと暮らしサポート事業契約状況

契約月	利用者	支援内容	移行予定の制度
平成29年8月	71歳男性	金銭管理、負債整理	未定
令和元年6月	41歳男性	金銭管理	未定
令和2年2月	61歳男性	金銭管理	未定

令和4年1月	81歳女性	金銭管理	未定
令和4年7月	96歳女性	金銭管理	成年後見制度に移行
令和4年9月	82歳女性	金銭管理	成年後見制度に移行予定

4) 職員研修

①全国権利擁護支援ネットワーク「第10回実践交流会」

令和4年9月10日(土) オンラインにて

寺尾主事

②全国権利擁護支援ネットワーク北海道ブロック意見交換会・交流会

令和3年11月24日(火) オンラインにて

寺尾主事

令和5年2月27日(月) オンラインにて

寺尾主事

③ジャスミン権利擁護センター10周年記念講演会

令和4年12月5日(月) かでの2・7

寺尾主事

④全国権利擁護支援ネットワーク「第14回全国フォーラム」

令和4年2月11日(土)12日(日) オンラインにて

寺尾主事

5) 成年後見中核機関に関する町との打ち合わせ

令和4年6月22日(水) 10:35~11:25

小野局長・門脇次長・立花係長・寺尾主事

6) 成年後見制度に関する北見市・津別町の打ち合わせ

・令和4年10月5日(木) 10:00~11:45 北見市役所

・令和4年11月18日(金) 13:45~14:45 北見市役所

小野局長・立花係長

7) 成年後見制度中核機関運営に関する事務局会議について

・令和5年3月1日(水) 10:00~10:35 オンラインにて

小野局長・立花係長

8) 令和4年度北見地域成年後見センター審査検討会見学

・第10回 令和5年2月21日(火) 14:40~16:15

小野局長・立花係長・寺尾主事

・第12回 令和5年3月23日(月) 14:00~15:30

(審査検討委員推薦者 グループホームほのぼのの管理者芳賀和氏)

立花係長

令和4年度津別町認知症地域支援・ケア向上事業 活動実績報告書

1. 認知症地域支援推進員の配置

氏名 門脇隆司

所属 社会福祉法人津別町社会福祉協議会 事務局次長

資格 社会福祉士

氏名 山口里史

所属 社会福祉法人津別町社会福祉協議会 総務・在宅福祉係主事

資格 社会福祉士

2. 活動実績

- (1) 認知症の人に対し、状態に応じた適切なサービスが提供されるような関係機関との連携を図るための取り組み
- (2) 当該推進員を中心に地域の実情に応じて、地域における認知症の人とその家族を支援する相談支援や相談体制を構築する。

① 認知症サポーター養成講座の開催

1. ひとり歩き高齢者おかえり模擬訓練の中で開催

令和4年9月28日(水) 13:05 ~ 10:35 講師 社協 寺尾主事

場所 豊永寿の家 参加者 19名

2. 津別消防

令和5年3月23日(木) 9:30 ~ 11:30 講師 津別町 丸尾主幹

場所 津別消防庁舎2階講習室 参加者 15名

② 認知症コーナーの設置や先進事例の普及

1. 認知症コーナーの設置 ~ 令和4年9月12日から10月15日までの1ヶ月間

場所: 役場内社会福祉協議会カウンター前
図書館より認知症に関連する本を借りて展示

2. 活汲老人クラブ出前講座 ~ 令和5年3月1日(水) 10:10 ~ 10:50

場所 活汲寿の家 参加者 33名

③ 出前カフェの開催

北見信金津別支店ロビーと津別郵便局ロビーで開催

開催日 令和4年4月15日(水) 9:30 ~ 11:30

※年金支給日に合わせて開催

(3) その他認知症の人やその家族を支援する取組。

① 認知症カフェの開催

令和4年 9月 7日(水) 14:00 ~ 16:00 ちゃのま

令和4年 11月 11日(金) 14:00 ~ 16:00 ちゃのま

令和5年 2月 2日(木) 14:00 ~ 15:45 カフェ&デリ ルカ

② 家族介護者のための茶話会

令和5年3月23日(木) 13:30 ~ 15:00 役場 多目的活動室

参加者 2名

③ ひとり歩き高齢者おかえり模擬訓練の開催

令和4年9月28日(水) 13:30 ~ 16:30 豊永寿の家

参加者 19名

スタッフ19名(活汲中央自治会、居宅介護支援事業所、地域包括支援センター
社会福祉協議会、津別交番、ボランティアスタッフ)

内 容 認知症サポーター養成講座「認知症を学び、地域で支えよう」

寸劇「トミおばあちゃんの探し物2022」

メール配信システムの説明

徘徊高齢者への声かけ訓練

④ 認知症サポーターステップアップ講座

令和4年11月16日(水) 13:30 ~ 16:00 講師 津別町 丸尾主幹

場 所 津別町役場 参加者 33名

⑤ 認知症サポーターステップアップ講座フォローアップ研修

令和5年3月9日(木) 13:30 ~ 15:00

講 師 北見赤十字病院 認知症疾患医療センター 福島看護師

場 所 津別町町民会館 講堂 参加者 17名

(4) 厚生労働省が示す認知症地域支援推進員研修会を受講し、資質の向上に努める。

① 認知症地域支援推進員研修の受講

新任研修 令和4年9月13日(火) 10:00 ~ 18:00

令和4年9月14日(水) 9:30 ~ 16:00

※オンライン研修 出席者 山口主事

② 第1回認知症地域支援体制推進全国合同セミナー

令和4年9月22日(木) 10:00 ~ 16:30

※オンライン研修 出席者 山口主事

③ オンライン認知症体験研修会

令和4年11月1日(火) 13:20 ~ 15:20

※オンライン研修 出席者 山口主事

④ キャラバンメイト養成研修

令和4年11月21日(月) 10:00 ~ 17:15

札幌市 かでる2・7 出席者 山口主事

⑤ 認知症地域支援推進員「すいしんいんセッション」

令和5年1月11日(水) 15:00 ~ 17:00

※オンライン研修 出席者 山口主事

⑥ 北海道チームオレンジコーディネーター研修

令和5年1月19日(木) 13:30 ~ 17:00

※オンライン研修 出席者 門脇次長 山口主事

⑦ 第2回認知症地域推進体制推進全国セミナー

令和5年1月20日(金) 10:00 ~ 16:30

※オンライン研修 出席者 山口主事

⑧ 認知症地域支援推進の機能強化に関する報告会

令和5年2月24日(金) 13:30 ~ 16:30

※オンライン研修 出席者 山口主事

⑨ ケアスタッフ研修会

令和5年3月8日(水) 18:00 ~ 19:30

※オンライン研修 出席者 山口主事

認知症の人にやさしいお店登録事業

町の方で実施要綱が整備され、令和元年月より事業開始

登録店は、13店舗（令和5年3月31日時点）

	事業所名	登録月	備考
1	加藤信陽堂薬局	令和元年10月	
2	増田呉服店	令和元年10月	閉店
3	津別郵便局	令和元年10月	
4	さんさん館カフェ	令和元年10月	
5	丸玉木材（株）津別病院	令和元年12月	
6	カフェJIMBA	令和元年12月	研修者不在
7	北見信用金庫津別支店	令和2年1月	
8	本岐郵便局	令和2年3月	
9	JA つべつ	令和2年7月	
10	カフェ&ランチ ちゃのま	令和2年8月	
11	（株）津別総合管理センター	令和2年8月	
12	北見相生郵便局	令和2年10月	
13	道東テレビ	令和2年10月	
14	網走信用金庫津別支店	令和2年10月	
15	オホーツク珈琲舎幾島珈琲研究所	令和3年3月	

令和4年度 津別町生活支援体制整備事業 実績報告書

1、生活支援コーディネーター等に関する業務

(1) 支え合いのまちづくりに向けた打ち合わせ

①令和4年5月18日(水) 14:00~15:30 役場 多目的活動室
既存事業の運営、まちなかサロン案、いきいきポイント事業の見直しについて
(篠原係長、丸尾係長、小野局長、門脇次長、寺尾主事)

②令和4年11月25日(金) 10:00~11:30 役場 多目的活動室
地域資源の把握に向けたアンケート、支え合いフォーラム、パンフレット作成について
(篠原係長、樋口係長、佐々木係長、門脇次長、立花係長、寺尾主事)

(2) 地域資源の発掘、サロン活動等既存の通いの場への活動支援

- ・地域サロン 11か所 ・運動サロン 2か所 ・老人クラブ 12クラブ
- ・サークルぴゅあ例会(年4回)
- ・自主団体(ボランティア等)活動への参加
(おりづる会、絵手紙サークル、日赤奉仕団、音楽活動サークル、旭町縫い物の会)

- ①新規サロン検討会や老人クラブ出前講座にて、町内サロン活動等の取り組み紹介実施。
社協だより等広報誌を活用し、地域の取り組みについて情報発信を行う。
- ②支え合いの担い手確保のため、ボランティア養成研修、ボランティア募集を行う。
- ③コロナ禍、自宅でできる生きがいづくりを発掘するため、作品展を開催する。
町民へ作品を募集し、R3.12より展示(令和4年度 8作品展示)

(3) 関係機関との情報共有、会議等への出席

①介護サービス事業所連絡会議(寺尾主事出席)

②在宅医療・介護連携推進会議(寺尾主事出席)

③まちづくりセンター運営協議会(寺尾主事出席)

・第1回

令和4年4月18日(月) 18:30 さんさん館 多目的ホール

令和4年度事業計画、収支予算案について

・第2回

令和4年11月17日(金) 18:30 さんさん館 多目的ホール
アイスクャンドルまつりの開催について

④アイスクャンドルまつり実行委員会(小野局長、寺尾主事出席)

・第1回

令和4年12月12日(金) 18:30 さんさん館 多目的ホール

・第2回

令和5年1月19日(木) 18:30 さんさん館 多目的ホール

・アイスクャンドルまつり(門脇次長出席)

令和5年2月4日(土) 12:00～ さんさん館

(4) 生活支援サポートセンター事業の実施

生活支援サポートセンター実績報告書へ記載

2、生活支援体制整備協議体に関わる関係者間とのネットワークの構築

(1) 津別町生活支援体制整備推進協議体会議の開催

①協議体会議

令和5年3月15日(水) 10:00～11:30 構成員11名出席

- ・支え合いの取り組みについて事業報告
- ・来年度からの協議体運営について
- ・地域資源の把握について

②協議体構成員

- ・特別養護老人ホームいちいの園・津別町居宅介護支援事業所
- ・津別町デイサービスセンター ・津別病院 ・グループホームほのぼの
- ・ケアハウスつべつ ・夢ふうせんのか・ほんき ・株式会社びーと
- ・加藤信陽堂 ・土田薬局 ・柳瀬食品店・津別町地域包括支援センター
- ・津別町保健福祉課 ・津別町社会福祉協議会

(2) 情報交換会への参加

①さわやかふれあいネット(さわやか福祉財団北海道ブロック主催) 寺尾主事出席

- ・令和4年7月6日(水) 15:00～17:00
- ・令和4年12月20日(火) 15:00～17:00

②オホーツク管内生活支援コーディネーター情報交換会

- ・令和5年2月24日（金）13：00～15：30
（寺尾主事 協力員として事前準備から参画）

3、生活支援コーディネーターの配置

主担当 津別町社会福祉協議会 地域福祉係 主事 寺尾 玲香（社会福祉士）
副担当 津別町社会福祉協議会 地域福祉係 係長 立花 さおり（社会福祉士）

4、生活支援コーディネーター研修等への参加

（1）研修日程と内容

①令和4年6月17日（金）13：15～16：30（オンライン）

令和4年8月31日（水）13：15～16：30（オンライン）

・ファシリテーター養成講座・交流会 寺尾主事出席

②令和4年7月27日（水）10：00～16：00（オンライン）

・生活支援コーディネーター養成研修（ケーススタディ編） 寺尾主事出席

5、出前講座、講師対応等

（1）日程と内容

①令和4年5月10日（火）10：00～11：00 共和生きがいセンター

・新栄生きがいクラブ出前講座（地域での支え合い活動について）寺尾主事対応

②令和4年9月1日（木）10：00～11：00 活汲老人クラブ会館

・活汲老人クラブ出前講座（フレイル予防について）寺尾主事対応

③令和4年9月8日（木）津別町町民会館

・生活支援コーディネーター養成研修（フォローアップ編）

（寺尾主事 事例報告対応、地域拠点の見学調整：旭町第3、緑町第2）

④令和4年10月5日（水）京極町公民館

・生活支援コーディネーター養成研修（フォローアップ編）

（寺尾主事 事例報告対応）

⑤令和5年2月17日（金）オンライン

・生活支援コーディネーター養成講座（振り返り・感想会）

（寺尾主事 事例動画報告終了後の質疑等対応）

令和4年度 津別町生活支援サポートセンター事業 実績報告書

1、生活支援サポーター研修の開催

(1) 生活支援サポーターフォローアップ研修

令和5年3月2日(木) 10:00~11:40 津別町役場 健診ホール

実施報告「津別町生活支援サポート事業の実施状況について」

報告 寺尾 玲香 氏(津別町生活支援コーディネーター)

活動発表 生活支援サポーター 4名

参加者 25名

2、生活支援サポーター登録者の管理

(1) 生活支援サポーター 登録者 77名(延べ登録者88名) ※別紙名簿のとおり
実活動者 36名

(2) サポーター登録証、ポイント手帳の配布

養成研修を修了し、登録したサポーター全員に対し登録証と手帳の配布を行っている。

3、サポート事業利用者の管理

(1) 利用登録者数 19名(延べ登録者45名)

令4年度 実利用者 8名

(2) 利用実績

	実利用人数	延利用人数	活動時間(分)	延べ活動サポーター数
4月	3	5	150	3
5月	2	3	90	2
6月	2	7	210	2
7月	6	12	450	6
8月	3	5	150	2
9月	4	7	240	5
10月	1	2	60	2
11月	2	3	90	3
12月	2	4	120	3

1月	2	4	120	3
2月	2	4	120	2
3月	2	5	150	2
計	32	61	1,950	35

(3) 活動内容

- ・ごみ出し ・窓ふき ・風呂掃除 ・換気扇掃除 ・カーテンレール修理

(4) チケット利用実績

- ・65枚 (×100円) = 6,500円

4、利用チケットの販売

(1) 生活支援サポートチケット

- ・1セット：30分100円×5枚つづり (500円)

(2) 販売実績

- ・18セット (×500円) = 9,000円

5、サポーターと利用者のマッチング、活動支援

臨時職員 (月10日×4時間)

- ・利用希望者との面談を行い支援内容の確認
- ・利用者からの要望・相談対応
- ・サポーターとの連絡調整
- ・サポーターからの相談対応

6、ポイント管理と換券手続き

(1) ポイント商品券交換申請者 5名

(2) 換券額 6,000円

令和4年度 参加支援事業実績報告

(1) 生活困窮者（ひきこもり者等）を対象にした「居場所」の運営

① 開催日時

- ・開催日 月2回（令和4年度から）
- ・利用者 定期 2名 不定期 2名
- ・開催時間 午前10時から正午

② スタッフ

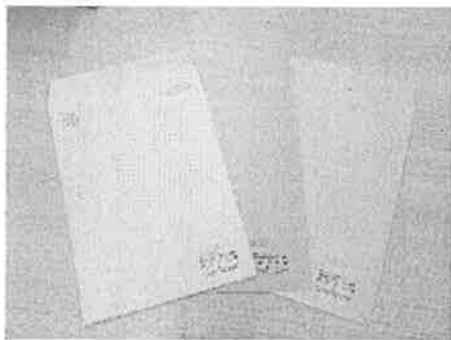
- ・支援員（元町保健師、ヘルパー資格など）3名
- ・社会福祉協議会 相談支援包括化推進員

③ 居場所開所日と参加状況

開所日	当事者	支援員	関係者	合計	作業内容
4月 5日	2	2	1	5	メモ帳作成
4月18日	2	2	1	5	メモ帳作成
4月28日	3	2	1	6	メモ帳作成
5月 9日	2	2	1	5	メモ帳作成
6月 1日	1	2	2	5	メモ帳作成
6月20日	3	3	1	7	再生封筒作成
7月 1日	3	3	1	7	再生封筒作成・ドライブレク実施
7月11日	3	3	1	7	再生封筒作成
8月 1日	2	3	1	6	再生封筒作成
8月22日	1	3	1	5	再生封筒作成
9月 1日	2	3	1	6	メモ帳作成
9月12日	1	3	1	5	黒大豆枝豆袋づめ
9月30日	2	2	1	5	メモ帳作成
10月17日	0	3	1	4	ドライブレク中止（作業なし）
11月 1日	2	3	1	6	メモ帳作成
11月14日	0	3	1	4	あぐり黒大豆選別
12月 1日	1	3	1	5	黒大豆選別と袋づめ
12月12日	1	3	1	5	黒大豆選別
12月26日	2	3	1	6	再生封筒作成
1月16日	2	3	1	6	再生封筒作成
2月 1日	2	3	1	6	再生封筒作成
2月13日	0	3	1	4	切干大根袋づめ・ポップコーンむき
3月 1日	2	3	1	6	ポップコーン袋づめ
3月13日	0	3	1	4	ポップコーン袋づめ
計	39	66	25	130	

④ 作業内容

- ・ 役場、社協に届いた封筒を利用し、再生封筒の作成



- ・ 裏紙や使用済み封筒を利用して伝言メモを作成



- ・ 社協あぐりの収穫作物の袋づめ作業など



⑤ ドライブツアー実施

町外への外出や外食の機会が少ないこと、この先の生活の場所を考える時のイメージができることや余暇活動など目的にドライブツアーを実施。

第1回 日時 令和4年7月1日(金) 津別町役場 10:00 出発 帰り 14:20

行先 社会福祉法人 北陽会 (留辺蘂)

かふえとすペース くぶくぶ (北見市北4条東1丁目)

第2回 日時 令和4年10月17日(月) 津別町役場 10:00 出発 帰り 14:20

行先 社会福祉法人 小清水町社会福祉協議会

就労支援事業所 エゾモモンガ

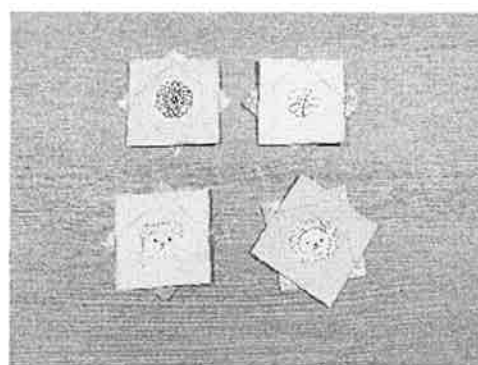
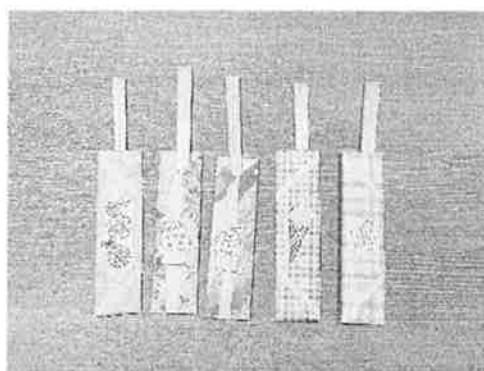
※当日参加者が休んだため中止



⑥ 就労支援準備事業 (北海道社会福祉協議会受託事業) の実施

社協に軽作業に通うようになった利用者1名が令和4年3月～令和4年6月まで利用。

本人の得意なこと、好きなことに合わせ作業内容を検討し、サロンで使用する箸袋やコースターなどを作成。



(2) 中間的就労の場の確保

① 社協あぐりの作業経過

月 日	業 務 内 容	備 考
令和4年 5月17日	あぐり打ち合わせ (ボランティア4名、社協3名)	
5月21日	肥料まき (ボランティア1名、社協2名) ロータリーかけ	大野 権氏
5月26日	あぐり下準備・いも植え (ボランティア6名、社協3名)	
5月27日	種植え (ピュアホワイト、ゴールドラッシュ、 ポップコーン、黒大豆、玉ねぎ) (ボランティア6人、社協2人)	黒大豆、ポップコーン (昨年収穫分) 玉ねぎ苗寄贈 とうきび購入
6月6日	人参種うえ (ボランティア1名、社協1名)	
6月24日	人参再種植え (ボランティア1名、社協1名)	
7月1日	草取り (耕運機) (ボランティア1人)	
7月3日	草取り (耕運機) (ボランティア1人)	
7月8日	草取り作業 (ボランティア10名、社協3名)	
7月10日	耕運機かけ (ボランティア2人)	
7月11日	じゃがいも土寄せ (ボランティア1名、社協2名)	
7月20日	草取り、草刈り作業 大豆、とうきび土寄せ、追肥 (ボランティア8人、社協3名)	
7月22日	防虫作業 (ボランティア1人、社協2名) ロータリーかけ (大根予定地)	大野権氏
8月8日	大根種植え (ボランティア5名、社協2名)	
8月12日	大根捕植 (ボランティア1名)	
8月19日	防虫作業 (ボランティア1名)	
8月23日	じゃがいも、玉ねぎ収穫 大根間引き (ボランティア10名、社協3名)	
8月24日	防虫作業 (ボランティア2名)	
8月29日	じゃがいも干しと選別 大根まわりの土おこし (ボランティア1名、社協2名)	
8月22日	防虫作業 (ボランティア2名)	
8月29日	とうきびネットかけ (ボランティア1名)	
9月10日	たまねぎ拾い (ボランティア2名)	
9月12日	黒大豆枝豆収穫 (ボランティア4名、社協3名)	役場職員に販売
9月16日	大根消毒、黒大豆枝豆収穫 (ボランティア1名、社協2名)	

11月1日	ポップコーン干し（社協3名）	居場所で袋づめして販売
11月7日	大根収穫、黒大豆刈り、豆落とし （ボランティア12人、社協3人）	大根は施設などに寄付 黒大豆は、居場所で袋づめを行い、役場、社協職員に職員に販売
12月29日	切干大根加工（社協4人）	切干大根は、居場所で袋づめし、社協、役場職員に販売

② ボランティア実人数 15名 （延べ人数 87名）

③ 社協あぐりの作業



④ 収穫した野菜を使って販売

- ・ 収穫した枝豆や大根を使っての切干大根、ポップコーンを作成
- ・ 枝豆、加工した黒大豆、切干大根、ポップコーンは、居場所で袋づめなどを行い、役場や社協職員に販売をした。
- ・ 切干大根は、防災ボランティア研修の炊き出しで切干大根として調理して提供をした。

・枝豆



・黒大豆



・切干大根



・ポップコーン



(3) ひきこもり者など支援についての学びと普及啓発
新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

(4) 関係機関等との打ち合わせ

令和4年8月22日 「居場所利用者ケース情報共有について」

居場所利用者について支援者で情報共有を実施

保健福祉課健康推進係 石崎係長、森保健師、阿部保健師

居場所支援員 3名

社会福祉協議会 立花係長・寺尾主事

令和4年11月4日 「K氏についての情報共有と今後の支援について」

保健福祉課健康推進係 森保健師

居場所支援員 1名

社会福祉協議会 立花係長・寺尾主事

(5) 見学・視察対応

特になし

(6) 職員研修・視察研修

令和5年2月13日 重層的支援体制整備事業に関する人材育成事業〈基礎編〉

(参加支援事業者向け研修)

小野局長・立花係長

福祉有償運送事業

■福祉有償運送事業

- ・自家用有償旅客運送者登録関係（福祉有償運送）
 - 登録番号 北北福第 30 号
 - 登録年月日 平成 29 年 6 月 21 日（北運企第 129 号）
 - 登録の有効期間 2022 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日
- ・車両台数 4 台（内車イス対応車 3 台）
 - ~~王藤王務店寄贈車（車イス対応車）~~ 令和 4 年 11 月廃車
 - 津別町無償貸与車（車イス対応車）
 - 24 時間テレビ寄贈車（車イス対応車）
 - 北海道リースレンタル車（車イス対応）
 - 社協活動車（予備車）
- ・運転手 11 名（内事務局 5 名）
- ・登録者数 230 名（令和 5 年 3 月末）
- ・利用実績（令和 4 年度）

4 月	実利用人数	52 名	延利用回数	227 回	利用金額	245,020 円
5 月	実利用人数	49 名	延利用回数	210 回	利用金額	239,040 円
6 月	実利用人数	52 名	延利用回数	228 回	利用金額	216,120 円
7 月	実利用人数	53 名	延利用回数	238 回	利用金額	214,520 円
8 月	実利用人数	47 名	延利用回数	271 回	利用金額	261,500 円
9 月	実利用人数	47 名	延利用回数	241 回	利用金額	216,500 円
10 月	実利用人数	46 名	延利用回数	217 回	利用金額	218,300 円
11 月	実利用人数	48 名	延利用回数	243 回	利用金額	235,860 円
12 月	実利用人数	41 名	延利用回数	210 回	利用金額	203,040 円
1 月	実利用人数	45 名	延利用回数	206 回	利用金額	233,320 円
2 月	実利用人数	46 名	延利用回数	239 回	利用金額	258,220 円
3 月	実利用人数	41 名	延利用回数	204 回	利用金額	281,160 円
- 合計 月平均 47.25 名 延利用回数 2,734 回 利用金額 2,822,600 円
- ・行き先別延回数
 - 津別町内 1,812 回 美幌町 675 回 北見市 214 回 網走市 28 回
 - 大空町 5 回

地域老人懇談会助成事業

地域福祉活動を推進するため、自治会単位で高齢者の交流、福祉・健康教室、地域防犯教室等に関する研修事業を開催するときに助成をする。

- ・対象者は70歳以上の方
- ・20名までは1名1,000円、21名から1名500円

自治会名	実施年月日	参加人数	助成金額
1. 活汲中央自治会	9月1日	28名	24,000円
2. 達美町自治会	9月27日	27名	23,500円
3. 豊永第3自治会	10月8日	35名	27,500円
4. 本町自治会	11月6日	20名	20,000円
合計金額			95,000円

あんしん電話（緊急通報装置）の推進

・独居高齢者などの不安解消と急病などの緊急時に、迅速かつ適切な対応を図るため、ボタンを押すと近隣の協力者に通報がいく装置の設置を推進する。

1、令和4年度の設置者

- 4名（1名解約）
- ※新規申込みなし

2、装置使用料金の助成

- ・月額使用料 380円
- ・助成金額 1ヶ月180円
- ・10月期（4月～9月）、4月期（10月～3月）の2回助成を行う

3、幹旋機種

シルバーフォンあんしんS

【取り扱い業者】

NTT東日本 北海道 北見支店

給食サービス事業

週2回（火・金）ひとり暮らしの在宅者等に対して食事を提供することにより、安否の確認、孤独感の解消、食生活の改善等を図る。

（実績と評価）

- 【 年間の利用者数 】 実人数 76 人 延べ人数 737 人 月平均 61 人
- 【 年間の食数 】 弁当 4,958 食（おせちを含めると 5,010 食）
月平均 413 食
- 【 年間のボランティア数 】 実人数 20 人 延べ人数 612 人

月	回数	利用者 実人数	食 数		ボランティア数	
			お弁当	みそ汁	実人数	延べ人 数
4月	9	63	433	64	18	54
5月	9	66	429	54	18	54
6月	8	64	396	48	18	48
7月	9	65	434	51	19	54
8月	9	63	434	48	18	54
9月	9	64	432	41	18	54
10月	8	65	390	43	18	48
11月	9	63	440	50	16	54
12月	8	62	384	43	18	48
1月	8	60	392	49	17	48
2月	8	63	420	42	17	48
3月	9	64	440	38	16	54
計	102	平均 64	5,024	571	平均 18	612

※年末のおせち 51 食

- ・利用者数が増えてきている。1人が月に3～4回活動している状況である。ボランティアの負担を軽減のため新たな担い手を探す必要がある。
- ・給食サービス利用者・ボランティア交流会
新型コロナウイルス感染拡大防止ため中止

ふれあい郵便事業

町内在住の80歳以上のひとり暮らし高齢者を対象に、ボランティアが作成した絵手紙を月1回自治会協力者、郵便配達員が手渡しで配布し、安否の確認と不安の解消を図るため実施。

1、配布状況

月	自治会配布枚数	郵便局他配布枚数	合計
4月	63	122	185
5月	63	121	184
6月	61	123	184
7月	60	123	183
8月	58	124	182
9月	60	124	184
10月	59	121	180
11月	68	113	181
12月	67	108	175
1月	66	105	171
2月	64	106	170
3月	66	104	170
計	755	1,394	2,149

2、配布協力自治会（11自治会）

自治会名	枚数	自治会名	枚数
新町	46	緑町第1	54
旭町第1	14	緑町第3	2
旭町第2	160	共和第3	48
旭町第3	118	共和第4	60
柏町	59	豊永第3	164
高台町	30		

- ・豊永第3自治会は、令和4年11月から自治会配布を再開
- ・緑町第3自治会は、令和4年5月分で対象者転居の為、自治会配布を終了

3、活動日 第3月曜日 13:00～

介護器具の貸出事業

障がい等により介護器具が必要な方に、ベッド・車イス・エアーマットの貸出を行う。

1、利用状況

	介護用ベッド (月 1,000 円)	車イス (月 500 円)	車イス (1ヶ月以内)	利用台数
4月	4	4		8
5月	4	4		8
6月	4	4	1	9
7月	4	4		8
8月	4	4		8
9月	4	4		8
10月	4	4	2	10
11月	4	4		8
12月	4	4	2	10
1月	4	4	1	9
2月	4	4	1	9
3月	4	4		8
計台数	48台	48台	7台	103台

サークルぴゅあ例会

1、例会の開催

- (1) 令和4年5月16日(月) 10:00~11:40 役場健診ホール
参加者6名 ボランティア3名 役場2名 社協1名 計12名
内容:近況報告、ジャンケンピッチング、ジャンケンペタンコ
- (2) 令和4年9月5日(月) 9:00~11:30 役場健診ホール
参加者5名 ボランティア4名 役場3名 社協1名 計13名
内容:近況報告、モルック
- (3) 令和4年12月5日(月) 9:00~12:30 役場健診ホール
参加者5名 ボランティア5名 社協1名 計11名
内容:近況報告、モルック
- (4) 令和5年3月6日(月) 9:00~12:30 役場健診ホール
参加者6名 ボランティア4名 役場1名 社協1名 計12名
内容:近況報告、モルック

2、サークルぴゅあ通信の発行

(1) 発行日

- ①NO.18 令和4年5月6日 ②NO.19 令和4年8月22日
- ③NO.20 令和4年11月18日 ④NO.21 令和5年2月16日

介 護 サ ー ビ ス 事 業

- ・訪問介護事業、訪問入浴介護事業及び障害福祉サービス事業を実施し、介護利用者の立場に立ったサービスの提供に努めるとともに、予防給付者の自立支援に向けたサービスの提供に努めた。

1. 訪問介護・介護予防訪問介護事業

利用者数 延 674 人 回数 4,950 回 時間 5010.5 時間

2. 訪問入浴・介護予防訪問入浴

利用者数 延 0 人（実人数 名） 回数 0 回

3. 障害福祉サービス事業

利用者数 延 41 人 回数 250 回

- ・町から委託を受けた、安否確認訪問事業、生活援助員派遣事業を実施し、介護保険サービスを受けることができない方に対して、声掛けなどをおこない不安解消に努めた。

1. 安否確認訪問（介護予防把握事業） 81 件（1 件 915 円）

2. 安否確認訪問（認知高齢者見守り事業） 51 件（1 件 915 円）

・ミーティング 毎月 1 回

・内部研修 毎月 1 回

4 月 高齢者虐待防止研修会

5 月 アレルギーについて

6 月 脱水症・熱中症について

7 月 高齢者の低栄養について

8 月 筋力が低下する原因・ストレッチについて

9 月

10 月

11 月 訪問介護の現場におけるハラスメントとその対策法

12 月 糖尿病からくる合併症

1 月 加齢と乾燥肌の関係

2 月 訪問介護の現場におけるハラスメントと苦情対応

3 月 今年度の反省と次年度の予定

～ 介 護 保 險 事 業 ～

◆訪問介護・介護予防訪問介護・訪問入浴介護実績（人数、回数、時間）

【訪問介護・介護予防訪問介護】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
事業 対象者	人数	6	6	6	6	6	6	6	6	8	9	9	8	82
	回数	22	25	22	24	26	24	19	22	29	31	34	34	312
	時間	22	25	22	24	26	24	19	22	29	31	34	34	312
要支援 1	人数	9	10	10	10	9	10	11	11	9	10	10	10	119
	回数	53	59	52	52	55	55	57	59	55	52	56	62	667
	時間	53	59	52	52	55	55	57	59	55	52	56	62	667
要支援 2	人数	12	12	11	10	12	10	8	8	7	6	7	7	110
	回数	69	74	73	66	76	70	57	50	51	38	42	47	713
	時間	69	74	73	66	76	70	57	50	51	38	42	47	713
介護1	人数	20	20	21	21	18	20	21	19	18	19	20	20	237
	回数	180	203	196	185	183	176	176	180	163	147	159	189	2137
	時間	178.5	212	199.5	191	184	177.5	176.5	189	168.5	151	156.5	196	2180
介護2	人数	4	4	6	7	6	6	5	4	4	6	6	6	64
	回数	54	53	56	69	70	66	57	53	53	49	54	61	695
	時間	51	50	53	66	72.5	70.5	60.5	54.5	56.5	48.5	65.5	70.5	719
介護3	人数	3	3	3	3	3	2	2	2	3	2	3	2	31
	回数	42	42	43	38	33	18	18	17	21	15	22	17	326
	時間	32.5	34	37	31	28	19	18.5	18	21	15	22	17	293
介護4	人数				1	2	1	1	1	1	1	2	20	30
	回数				20	13	9	9	8	8	8	12	10	97
	時間				26	15	13	13.5	12	12	9	12.5	10.5	123.5
介護5	人数	1												1
	回数	3												3
	時間	3												3
合計	人数	55	55	57	58	56	55	54	51	50	53	57	73	674
	回数	423	456	442	454	456	418	393	389	380	340	379	420	4950
	時間	409	454	436.5	456	456.5	429	402	404.5	393	344.5	388.5	437	5010.5

【訪問入浴介護・介護予防訪問入浴介護】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	人数													0
	回数													0
	人数													0
	回数													0
合計	人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

■年度別介護保険事業実績状況

年度	介 護	入 浴	合 計	年度	介 護	入 浴	合 計
H12年	7,639,450	2,157,810	9,797,260	H24年	18,448,662	1,007,728	19,456,390
H13年	6,410,560	1,911,970	8,322,530	H25年	16,272,166	1,468,233	17,740,399
H14年	8,889,170	1,813,070	10,702,240	H26年	15,003,051	1,693,493	16,696,544
H15年	13,270,840	1,581,310	14,852,150	H27年	18,919,450	569,378	19,488,828
H16年	14,252,410	2,902,410	17,154,820	H28年	22,851,805	1,282,300	24,134,105
H17年	12,279,270	1,991,050	14,270,320	H29年	23,469,960	725,890	24,195,850
H18年	11,660,920	1,451,200	13,112,120	H30年	20,065,424	1,101,470	21,166,894
H19年	11,364,240	1,135,700	12,499,940	R元年	19,941,062	858,330	20,799,392
H20年	14,330,830	776,300	15,107,130	R2年	22,124,360	72,393	22,196,753
H21年	12,780,180	345,010	13,125,190	R3年	22,872,404	44,480	22,916,884
H22年	13,789,360	129,380	13,918,740	R4年	21,254,999	0	21,254,999
H23年	14,887,000	431,250	15,318,250				